



シルバーだより

会員数 2,283名 男性1,567名 女性716名

(令和4年7月現在)

火のくに

No. 86
2022.



春の熊本城散策集合写真

もくじ

令和4年度 定時総会	1～2
令和4年度 なごみ会総会	3
熊本市シルバー人材センター安全大会	4
春の熊本城散策	5
ボウリング大会	6
なるほど終活セミナー	7～8
われもこう写真展	8
随想「育児支援の思い出」	9
若いうちから図書通帳ぜひ	10
事務局だより・日誌	11

令和四年度 定 時 総 会

熊本市シルバー人材センター令和四年度定時総会が六月二十一日(火)市民会館シアーズホームの大ホールにおいて、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図り開催されました。

はじめに 令和三年度中に亡くなられた会員二十名の名前が読み上げられ、その霊を弔い黙祷が行われました。

その後、会員として、永年にわたり事業の発展に寄与された方々に対する表彰が行われ、受賞者のうち、当日出席された会員の代表者に対して表彰状及び副賞が授与されました。

二十五年代表

園田 孝 様

二十年代表

高木 俊彦 様

十五年代表

坂本 義美 様

十年代表

太田 隈怜 様

次に西島理事長から、要旨「事業は、新型コロナウイルス感染の影響を受け、派遣事業を除き全体的に厳しい状況が続いている。今後とも、新型コロナウイルス感染の影響及び多額の税負担を伴ういわゆるインボイス制度の本格的な導入により厳しい状況が続くものと考えている。

コロナ禍にあっても、

会員は、エッセンシャルワーカーとして、日常生活に欠くことのできない業務を担うとともに、その働き方は、働く日数や時間、業種間の移動など非常に柔軟であり、その仕組みは、人口減少と高齢化の進展による労働力不足が生ずる社会で一つの良い働き方を提示していると思う。そのように考えると、人生一〇〇年時代に高齢者が活躍できる社会をつくるに当たり、シルバー人材センターの存在意義は非常に高いものがある。

今後、熊本市シルバー人材センターでは次のことを推進していきたい。

一 一昨年から介護保険総合事業の日常生活支援や空き家対策事業に取り組んでいるが、今後、エッセンシャル

ワーカーとして、これまで以上に地域に密着した課題に積極的に取り組んでいきたい。

二 就業をめぐり時々事故等が発生しているが、安全就業は基本中の基本であり、研修等に入力を入れ、怪我のないシルバー人材センターに取り組んでいきたい。

三 多様で柔軟な働き方とともに会員が相互に支え合い、助け合う元気で楽しいセンターづくりに取り組んでいきたい。」旨挨拶がありました。

その後、熊本市長の祝辞があり、次に、熊本労働局及び熊本県からの御来賓について紹介がなされ、とともに、熊本市議会議長及び熊本県シルバー人材センター連合会会長からのメッセージが紹介

されました。

その後、定足数について報告があり、定款に基づく総会が成立することが報告されました。

次に、議長が選出され、次のとおり、順次議案審議等に入り

議案第一号 令和三年度事業報告について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け厳しい状況が続く中で、労働者派遣事業の拡大等により契約高は前年度を上回るなど、安定した財政基盤の指標となる経常収支において収益を確保することができたこと。令和五年十月から導入されるいわゆるインボイス制度については、シルバー人材センターの経営に極めて大きな影響を及ぼすこととなることから、熊本市や熊本県などに働きかけ、政

府への特例措置等の要望活動を実施していることなどが報告され、ともに、具体的な事業実績が詳細にわたり報告されました。

議案第二号 令和三年度収支決算報告について

公益法人の会計基準に基づき作成された財務諸表について詳細説明され、令和三年度の経常増減額は一二九三万八三六五円増であったことなどが報告されました。

次に、監事より監査報告があり、その後、右両議案に対する質疑応答を経て第一号議案の報告が終わり、第二号議案が原案どおり承認されました。次に、理事会の承認を得た次の事項が順次事務局より説明があり、
一 令和四年度事業計画について

二〇一六年の熊本地震や二〇二〇年初からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会員数や契約額は震災前のレベルに至らず、厳しい運営状況が続いている。今後、シルバー人材センターの充実・発展のために会員の確保、安全適正就業の拡充、地域課題への対応、財政基盤の強化、組織体制等の整備など新規事業を含めた重点事業を積極的に展開していく旨報告されました。

二 令和四年度収支予算と資金調達及び設備投資に関する見込みについて

前年度収支予算をベースに作成された収支予算書及び資金調達及び設備投資の見込み

について説明があり、平成四年度の経常増減額が一七〇〇万円増と見込まれることなどが報告され、総会は閉会となりました。



二十五年代表 園田孝会員



総会風景

令和四年度

なごみ会総会

定時総会終了後、引き続き会員「なごみ会」総会が開催されました。

最初に田上会長から、「昨年度、会員相互の親睦や交流を目的とした行事は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止せざるを得ない状況となった。実施できたのは、九月の鶴屋ギャラリーにおける第二回作品展及び十二月熊本県立体育館において開催した卓球大会であった。また三月に予定していた熊本城散策は年度内の事業としてはできなかったが、翌月四月に実施したところ八十五人の参加があり、好評のうちにより有意義な会員交流事業ができた。本年度も

次の議案が順次審議された。

議案第一号 令和三年度

事業報告

議案第二号 令和三年度

決算報告

の両議案について事務局より一括説明があり、

新型コロナウイルス感染の影響によりほとんどの事業が実施できなかったこと。亡くなられた会員

八人の遺族に香典をお渡ししたこと。また、実施できた事業は、九月鶴屋

ギャラリーでの「第二回作品展」及び十二月県立体育館での「卓球大会」

のみであったことなどが説明され、決算報告については、収入・支出の詳細が説明され、次期繰越金が一九五万四四九三円となることが説明された。

その後、監査報告があり、質疑応答を経て両議

案は原案通り承認された。続いて、

議案第三号 令和三年度

事業計画(案)

議案第四号 令和三年度

収支予算(案)

の両議案について事務局より一括説明され、昨

年度、実施できなかった事業を中心に開催していく。会員全員に還元できる事業として、新たに県

警音楽隊コンサートを開催すること。会員からの意見や要望を聞きながら新しい事業も企画していきたいこと。収支予算に

ついては、総額三七五万五四九三円に係る収支予算の詳細が説明された。

その後、質疑応答を経て両議案は原案通り承認され、総会は閉会となった。

広報委員 中村光明

安全大会

令和四年度の熊本市シルバー人材センター安全大会が、七月十二日(火)

シアーズホーム夢ホール

市民会館大会議室において、職群班、安全管理責任者他、役員等約百名出席のもとに開催され、開

会に先だち、西島喜義理事長から挨拶がありました。

続いて表彰に移り、今年度の表彰は次のとおりでした。

無事故・無トラブル班

七年連続

除草東三班・除草北三班・白川リバー清掃班・

アクアドーム清掃班・営繕班・西熊本駅駐輪管理

班・平成自転車保管所管理班・二岡保育園駐車場

管理班・熊本商工会議所

五年連続

剪定南六班

安全・適正就業強化月間

標語応募作品

最優秀賞

「慣れるほど 忘れてしまう

その危険 意識を高めて安全作業」

優秀賞

会員番号一〇四四八

山田健二会員

「気のゆるみ 慣れと過信が

ケガのもと」

会員番号一〇六一二

樋口義文会員

佳作

「慣れた作業 ゆるんだ心に

事故潜む」

会員番号四六三三

増崎和宏会員

「安全は 指差し確認 声確認」

会員番号 一〇四二四

後藤守弘会員

「これぐらい 思う心が 事故まねく」

会員番号 一〇四〇二

上村ヤヨイ会員

表彰後は、管理業務部

会熊本内科病院立体駐車

場班の班長猿渡龍一会員

より、実体験を交えた事

例発表が行われ休憩をは

さみ、演題「健康寿命を延

ばすため」フレイル予防

を中心」熊本機能病院

顧問 NPO法人熊本高

齢者社会活性化研究セン

ター長の二塚信様から講

演があり、フレイルの概

念について解説が行われ、

最後に健康寿命を延伸す

るライフスタイルの一〇

か条の中でも二つの事に

ついて、動物性タンパク

質を十分摂取する。適度

な運動をすることが最も

重要で、シルバー人材セ

ンターで働く皆さんは、こ

のライフスタイルを実践

されているのではないかとお話がありました。

続いて、団体傷害及び

賠償責任保険等の状況

説明が株式会社グラ

デイル総合保険研究所

の専務取締役 川口貴司

様より説明ののち、最後

に安全・適正就業委員会

副委員長 有川会員の

音頭により、最優秀作

品の安全標語を出席者全

員が心の中で唱和を行い、

閉会となりました。



二塚氏 講演

熊本城散策



熊本城公園等市内三カ所がメイン会場に「くまもと花博」が色鮮やかに開幕中、四月十七日(日)快晴の中、熊本市シルバー人材センターなごみ会主催の「春の熊本城散策」を実施しました。

熊本城は四百十五年前、名将加藤清正によって築城され、日本三名城のひとつとして数えられ、以来幾多の変遷を経て平成二十八年四月、未曾有の熊本大地震で石垣崩落や建物の崩壊など甚大な被害を受け、今なお復旧作業が継続される中、蘇った不屈の名城熊本城の雄姿が特別公開されています。

当日は八十余名の会員・家族の散策参加者が

あり、午前十時桜の馬場城彩苑広場で西島理事長から散策の主旨や、「会員の仲間づくり、楽しく喜びのあるなごみ会であることをお願いしたい」旨挨拶がありました。

今なおコロナ感染者数が高止まりの傾向にあり、感染対策として一ヶ班を十人単位の八ヶ班に編成して、八人のボランティアガイドで案内するということになりました。

ガイドは、くまもとよかとこ案内人の会、熊本城常駐観光ボランティアガイドで熊本城一帯を熟知しているベテラン揃いでした。

散策コースは、特別公開南口から特別見学通路の南ルート・北ルート

二の丸公園に至る二時間コースでした。

散策中、ガイドから数寄屋丸・二様の石垣(武者返し)・本丸御殿等十五所に及ぶ楼閣や建造物等について流暢で判り易い説明がありました。

中でも天守閣については、震災で崩落した石垣が天守七百九十一石、小天守で三千二百五十二石を積み直し震災前の姿に復旧したということでした。

大天守前広場に隣接する長局(ながつぼね)櫓は、かつて多くの観光客が一服の抹茶を求めて訪れていたシルバー人材センター運営の茶室で、震災後は門戸が閉ざされ人の出入が禁止される等、一抹の淋しさを感じました。

散策が終わって二の丸公園広場でお楽しみ抽選

会を実施した後、なごみ会で用意された弁当を配布、各自公園の木陰で語り合いながら弁当開きした後、三々五々熊本城後にしました。

長年熊本に住みながら幾度となく訪れていた熊本城を漫然と見過ごしていたため、今回初めてのボランティアガイド付き散策であったことから、これまで無知の城下をつぶさに悟ることができ、意義のある散策の一日でした。

なごみ会会長 田上吉昭



散策風景

◆ 熊日掲載 ◆

なごみ会

ボウリング大会

令和四年度なごみ会
のレクリエーション活
動の第一弾として、初
の「ボウリング大会」
が七月十九日に大劇会
館にて開催されました。
算)

コロナの第七波は猛威
を振るい、しかも降り
しきる雨中にもかかわ
らず、多くの会員及び
ご家族の参加をいただ
きました。

理事長の始球式でプ
レー開始、なんとそれ
がいきなりの『ストラ
イク』好ゲームを予感
させるスタートです。
試合は五レーンを貸

した。結果は以下のと
おりです。ブービー賞

荻原照代会員

優勝

北本健二会員

340点

準優勝

吉川光義会員

320点

※ハイゲーム191点

三位

加藤徹子(家族)

298点

広報委員会

村島須美子



ボウリング大会参加者

■ 会員文芸 ■

◎肥後狂句……………

○悪いねえ いつも終い湯ばっか
りで

会員 片田成子

なるほど終活セミナー開催

令和四年六月三十日熊本市市民会館シアーズホール夢ホール第六会議室において、ゴールド会員対象の「なるほど終活セミナー」が開催されました。講師は熊本放送の週刊山崎君などでお馴染みの山内要(かなめ)さん(以下「要さん」と称す。)でした。参加料は無料で、ゴールド会員男女一九人の皆さんが参加されました。

最初に、西島理事長か

ら、「本企画の趣旨と高齢社会をよくする女性の会樋口恵子理事長(九〇歳)の講演を踏まえ、高齢社会におけるシルバードの役割の重要性などについて」挨拶があり、次に、出張終活セミナーを主催するファミリー熊本支社内田支社長の挨拶を経て、要さんの講演が始まりました。

要さんは、葬儀社に三年程勤めていた経験を踏まえて「葬祭ディレクター」、「終活アドバイザー」の資格を取得し、大切な終活のことを伝えていきたいと、ファミリーさんとともに活動していることを紹介され、終活

について、

■終活とは人生の最後を迎えるための様々な準備であり、人生一〇〇年時代に、これからの人生を有意義に生きるために、自分と周りの人を見つめなおす良い機会である。

■終活は、今でしょう！介護を要するようになったり、認知症を発症したり、意識が無くなったらできなくなる。また、身内にこのような人が出てきたら終活は止まる。

■終活の進め方は、①まず家の中を片付ける(へそくり、貴重品、保険証書等大事なものが発見される場合がある。)②エンディングノートに書く(ファミリーユさんは、「未来ノート」。それを自分の判断でそれぞれ進めていく。

■病院で葬儀社を決める時間的な余裕は、約三〇分

と短い。亡くなった方にちゃんと向き合い、しっかりお別れするために準備しておくべきことは、①エンディングノートの作成、②印鑑(認印で良い)、③写真(祭壇用)、④当座のお金数万円 この四つの準備ができていれば、身内にも迷惑かけることなく葬儀は落ち着いてできる。などと終活を先送りしている身にとって貴重な話を聞く機会となった。

最後に、自分の終活のことを考えることができるのは幸せなことであるという意味で「寿陵」の言葉を紹介して締めくくられた。

質疑応答には、要さんと内田支社長で対応されました。今、お墓のことで親族間の衝突が多く、埋葬は、海への散骨が増加してきている。その背景には「貴方と同じ墓に入

りたくないの」との意見が増えてきている現状などが説明されるとともに、会員からの「標準的な葬祭代金について」、「法要時のお寺へのお布施額について」、「ファミリーユさんの特徴について」などの質疑に応答された。

なお、ファミリーユさんの特徴については、①一日一組の貸し切りホールであること、②無料会員制度があること、③熊本市内に二〇の式場があり、場所の選択ができること、④式場使用料はないこと、などと説明された。

最後に、参加者に感想を伺ったところ、女性の方から「今日は良い話を聴くことができて本当に良かった。」また、会長からは「久し振りに皆さんとも会えて良かった。秋には温泉地への小旅行を

実現して交流を深めたいので支援をお願いします。」との言葉を残し、足取りも軽く会場を後にされた。



山内要氏 講演



われもこう写真展

六月一日(水) から六月六日(月) まで、鶴屋ギャラリーで開催されました。われもこう写真展は、野草花を楽しむ会として発足、今回で二十七回を迎えました。

当初、野草花のみの写真展が開催されていましたが、現在六月に風景写真展、十二月に野草花写真展となっています。展示会場には六名の会員が一人四部の作品を展示され見事な作品ばかりでした。

シルバー人材センター内田会員の風景写真は今年の六月三日、午前六時四十分には大分県豊後二見ヶ浦の地平線夫婦岩の間から顔出したダルマ太陽を見事に捉えた傑作写真となっています。



写真展風景



内田会員の展示作品

内田会員は、海外に足を延ばし撮影し腕を磨いておられ、今回は数日泊りでの下見で見事に撮影に成功したという事でした。広報委員会 田上吉昭

※写真(内田裕会員)

随想

育児支援の思い出

六十三歳で二十年勤めた会社をやめました。その後毎日が自由な時間を夫と共に、桜、花菖蒲、それ藤の花だと過ごしているうちに、何かとりとめない毎日が勿体ないと思えてきました。そんな時に私のまわりでシルバー人材センターに登録している友人が生き生きと過ごしている事に気がつき

ました。

「あゝ、これだ。社会の片隅でつながっている」と六十四歳でシルバー人材センターの会員になりもう二十年も経っていました。この間の事を思い出してみると対人関係で嫌な思いをした事は

なく大切な思い出だけが一杯残っているのに気がつきました。私の仕事は高齢者や育児支援が主でしたが、その中の忘れられないある話を伝えたいと思います。

年長組の男の子を保育園に迎えに行って一緒にその子の自宅まで帰って夜の七時まで見守る仕事でしたが、ある日の事です。いつも子供のリュックに入れてある箸の鍵がなかったのです。朝の多忙なお母さんがリュックに入れるのを忘れられたのでしょう。その日は子供が喜びそうな紙芝居を用意していたので困ってしまいました。仕方がな

いので玄関の前で紙芝居を始めたのですが、日も暮れてうす暗くなった頃、通りがかりの七十歳の男性が「どうしたのですか」と立ち止まって下さいました。事情を説明したら「わたしの家はすぐ近くですからお母さんに連絡がつくだろうぞ」と言われて暫くその家で過ごさせていただきました。どんなにありがたかったかしれません。

このお子さんの家庭とは他にも保育園の見学の日におばあちゃんとして出席したり、運動会にご一緒したりしました。その運動会でフオークダンスに出場して、何十年ぶりかで「オクラホマミキサー」を踊り高校生時代の思い出に浸った日もありました。その男の子が卒園した時に私の仕事は

終わりましたが、記念にと言われてI・Hの携帯コンロを頂きましたが六年前の地震の時とても役に立った思い出があります。そんな過ぎた日の事を思い出す度にあの男の子も高校生となつてどんな日々を送っているのかと想像してみます。

他にも二十年間の仕事に関して、いくつかの思い出がありますので文章に残しておきたいと思っています。

会員 片田成子



◆熊日掲載◆

熊日読者のひろば

若いうちから図書通帳ぜひ

十二日付けの熊日新
聞で、「読書ミリオネ
ア」の記事にとっても興
味を覚えた。菊池市立
図書館で、読んだ本の
定価を記録できる「図
書通帳」を発行してい
るという話である。冊
数を記録する試みは聞
いたことがあるが、本
の定価を上積みしてい
く発想にはびっくりも
したが感心した。

達成者のほとんどは
小中学生ということだ
が、三十一人の達成者

の中に、八十一歳の男
性がおられた。「貯金の
ように貯まるので達成
感がある」と語ってお
られる。
年金が目減りして、
何もかもが値上げされ
る昨今、貯金などは夢
のような今の世の中だ
から、図書通帳は大き
な楽しみをもたらすこ
とだろう。

私が読書に興味を
持ったのは、六歳で
あった。講談社発行の
「老女白菊」は、西南戦

争に出征したきり帰っ
てこない父を案じなが
ら、留守宅を見守る少
女の話だった。何回も
読むたびに、涙を流し
た。講談社の児童向け
の本には美しいさし絵
があつて、「和氣清麻
呂」大楠公楠木正成」
も記録にある。

その後は、自分でも
びっくりするくらいの
乱読だった。日本や世
界の文豪といわれる作
家をはじめ、少年少女
向けの小説、中学時代
には、「宮本武蔵」、なぜ
か「銭形平次捕物控」
に夢中になったことも
ある。

後期高齢者になって
からは、月に二回、図
書館に通い、書店の広
告や新聞の紹介記事を
参考に読書を続けてい
る。私の小中学時代か
ら、本の定価を貯金し
てたら、きっと大富豪
になったことだろう。
読書はいろんな知識も
身に付き、生活の中に
役立っている。若いみ
なさんは、今からでも
遅くはない。図書通帳
をつけてほしい。

会員 片田成子



事務局だより

〒860-0833
熊本市南区平成1丁目10-8
(熊本市健康センター平成分室2階)

TEL 096(322)3300
FAX 096(322)3324

令和四年七月八日(金)熊本市植木文化ホールにて、熊本市シルバー人材センター連合会主催の安全大会が開催されました。その中で、熊本市シルバー人材センターから安全・適正就業

強化月間に応募された作品が表彰されました。

【最優秀賞】

「忘れるな 小さなヒヤリが事故のもと」

熊本市シルバー人材センター会員 相馬妙子

日誌

令和4年

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| 4月13日 新入会員オリエンテーション | 6月1日 なごみ会幹事会 |
| 14日 なごみ会幹事会 | 2日 育児サポート研修 |
| 17日 なごみ会主催「春の熊本城散策」 | 7日 東区地域活動推進委員会・九シ協理事会(福岡市) |
| 21日 女性活躍委員会 | 8日 総務委員会・新入会員オリエンテーション |
| 25日 全シ協会長会議(東京都) | 16日 女性活躍委員会・安全適正就業委員会 |
| 26日 SC議連総会(東京都) | 21日 定時総会 |
| 27日 新入会員オリエンテーション・県SC安全適正推進員研修 | 22日 新入会員オリエンテーション |
| 28日 管理希望新入会員研修・除草・草刈講習会
職員辞令交付 | 23日 全シ協総会 |
| | 24日 管理希望新入会員研修 |
| 5月6日 総務委員会・剪定部会幹部会議 | 27日 県SC連合事務局会議 |
| 9日 なごみ会幹事会 | 29日 県SC連合会総会 |
| 11日 新入会員オリエンテーション | 30日 ゴールド会員セミナー |
| 13日 専門委員会 | |
| 17日 監事監査・県SCオンライン会議 | 7月1日 安全合同巡回指導 |
| 19日 県SC連合会安全巡回指導・女性活躍委員会・家事支援員研修 | 4日 なごみ会幹事会 |
| 23日 県SC連合会第1回理事会・南区地域活動推進委員会 | 6日 植木相談会 |
| 24日 安全優良SC選考委員会(東京都)・西区地域活動推進委員会 | 8日 県SC連合会安全大会 |
| 25日 なごみ会監査・新入会員オリエンテーション | 12日 安全大会 |
| 26日 管理希望新入会員研修・除草草刈講習会・管理業務部会会議 | 13日 新入会員オリエンテーション |
| 27日 理事会 | 14日 九シ協総会及び職員研修(15日まで) |
| 30日 中央区地域活動推進委員会 | 19日 なごみ会ボウリング大会 |
| 31日 北区地域活動推進委員会 | 27日 総務委員会・新入会員オリエンテーション |
| | 29日 管理希望新入会員研修 |

熊日読者文芸掲載

俳句の部入選作品

うららかや縁側出て写経する

相馬 妙子

川柳の部入選作品

濡れ靴に新聞詰める祖父の知恵

相馬 妙子

頭垂れ歩きスマホの影法師

内田美千代

